

そして僕たちは、
組織を
進化させていく

AIと共鳴する
「タイニーチーム」のつくりかた

斉藤 徹

100日間、組織進化の旅へ

今、僕たちは歴史の特異点に立っている。

2022年、人類は新たな叡智の扉を開いた。生成AIの登場により、指数関数的に変化する世界が、僕たちの日常に息づいている。機械の知能が人の知性に肉薄し、やがて凌駕する未来。歴史の転換点は、僕たちに想像を超えた驚愕と、いまだ見ぬ地平をもたらすだろう。

ならば、組織はどう進化するのか。

コロナ禍で「リアル体験の尊さ」が再発見されたように、AIの台頭は「人間独自の価値」を際立たせるはずだ。人とAIがシームレスに協働し、人間に求められる役割も変わる。変化と葛藤の中で、僕たちが求めるべき理想の組織像はどこにあるのだろうか。

その答えは、AIの天才たちが知っている。

シリコンバレーで、少人数で驚異的な成果を上げる「タイニーチーム」が注目されている。彼らが実践するのは、市場と組織の「AIぐるぐるモデル」を構築すること。本書は組織に焦点を絞り、その循環の仕組みを「創発循環モデル」として明らかにする。

天才の成功モデルを、自組織で再現するために。

「やる気・知識・ひらめき」のスパイラルを生む創発循環を自組織に導入するために、本書は、AI導入と組織変革を同時に行う「100日間の実践プログラム」を提示する。理論、メソッド、物語——三位一体の読書体験が、あなたのチームに行動変容をもたらすはずだ。

僕たちは、本当に組織を変えられるのか。

変えられる。これから「統制する組織」と「創発する組織」の間で、創造性と生産性の格差が劇的に拡大し、経営者にとって、組織変革が「避けられない最重要課題」となるからだ。未来の光が射す方へ。人とAIが共鳴する組織の設計図を、これから描き出していく。

さあ、準備はいいかい？

今から組織を進化させる

冒険にでかけよう。

序章 知能革命の夜明け

- 01 超越する知能～AlphaZeroが示した未来への扉014
- 02 生成AIの正体～確率的オウムから汎用知能へ016
- 03 AGIの足音～近未来に訪れる知性の特異点021
- 04 ホワイトカラーの未来～
知性の再配置と新たな職の夜明け 023
- 05 僕たちの選択～知能革命のクラックから差し込む光 025

第1部

地図の書

～タイニーチームの成功を再現する設計図

第1章 天才たちの成功は 再現できるのか

- 01 世界を動かす「タイニーチーム」
～天才から学ぶ、協働の新しいカタチ030
- 02 創発のメカニズム～P&G実験が明かした驚きの発見 035

03 AI協働の3段階～道具から部下へ、そして共創者へ	040
-----------------------------	-----

04 組織におけるAI進化論 ～支援ツールから知的パートナーへ	044
------------------------------------	-----

第2章 問われる人間の価値

01 思考停止の甘い罠 ～AI協働がもたらす「やる気」と「創造性」の喪失	050
02 選択の時～AIに依存するのか、共鳴するのか	052
03 AI時代に試される人間の基礎力 ～数値化できない非認知能力	057
04 人間独自の中核能力 ～目的設定・内発創造性・価値判断・社会的知性	061
05 人間の役割 ～「AIネイティブな組織」における人間の役割とは	066
06 AIシフトを阻む壁 ～現場のマインドセットとリーダーシップ	070

第3章 共鳴するチームの設計図

01 チームの存在意義～非常時のチームに、何が起きるのか	074
02 やる気をつくる循環～成功するチームには「型」がある	079

03 知識をつくる循環～成功の裏側で起きていた 「知のスパイラル」	084
04 AIとの共鳴～現場の知をつなぐ物語	088
05 共鳴化と実践知～AI時代の知識創造モデル	091
06 知識の質を変える～プライベートAI時代の競争優位	097
07 「創発チーム」の設計図 ～ 天才たちの成功を再現する	102

第2部

航海の書

～創発チームへの変容に挑む

第4章 チームを変えるロードマップ

01 学習と継続のメカニズム ～なぜ、組織変革は失敗するのか	112
02 創発OS ～人とAIの共鳴を生み出す航海術	114
03 創発会議メソッド ～チームが変わる100日間のロードマップ	117
04 チームAIのはじめ方～組織の暗黙知を育てる実践ガイド	123

05 チーム診断 ～「現在地」から「創発」への最初の一步	126
------------------------------	-----

EPISODE 1 富士工業、共鳴のはじまり	131
------------------------	-----

航海のヒント～創発の“はじまり”を感じたあなたへ	148
--------------------------	-----

第5章 【対話の第1週】対話と情報共有の習慣をつくる

01 対話習慣のステージ ～どうやってスター型からメッシュ型へ、変えるのか	152
02 心をつなぐ対話術～話す・聴く・問う技術を体得する	156
03 1on1会議 ～組織の課題を共有し、取り組みの意図を話そう	166
04 チーム会議～スター型からメッシュ型への移行を促そう	171
05 ふたつの循環 ～対話で関係の土台を築く	176

EPISODE 2 富士工業、変化の第一歩	179
-----------------------	-----

航海のヒント～創発の話づくりに踏み出したあなたへ	194
--------------------------	-----

第6章

【共感の第3週】心理的に 安全な場をつくる

- 01 関係性のステージ
～心理的に安全な場は、どうやってつくるのか 200
- 02 心理的に安全な場づくり
～本音で話し合う技術を体得する 208
- 03 1on1 会議～人生の軌跡を通じて、深い信頼を育もう 214
- 04 チーム会議
～相互理解を深め、本音で話せる場をつくろう 217
- 05 ふたつの循環～共感で信頼を深める 219

EPISODE 3 富士工業、関係の再生 221

航海のヒント

～心理的に安全なチームづくりに向かうあなたへ 240

第7章

【共感の第5週】強みを活かし、 活躍の場をつくる

- 01 主体性のステージ
～仕事への前向きな姿勢は、どうやってつくるのか 246
- 02 主体性を高める場づくり
～フロー体験で自己実現の道を拓く 253
- 03 1on1 会議～自分の強みを発見し、活躍の場をつくる 263

04 チーム会議	
～個々の強みと未来を共有し、応援し合おう	266
05 ふたつの循環～自覚で思考を磨く	268

EPISODE 4 富士工業、希望の連鎖

航海のヒント

～主体性を持ったチームづくりに向かうあなたへ	285
------------------------------	-----

第8章 【連帯の第7週】一丸となり、 価値を創造する

01 使命感のステージ	
～チームの連帯感は、どうやってつくるのか	292
02 パーパスを追求する場づくり	
～自走する組織をつくる技術を体得する	295
03 1on1 会議	
～組織の北極星を理解して、自分ごと化する	301
04 チーム会議	
～パーパスを共有し、チーム一丸となる	304
05 ふたつの循環～連帯で未来を描く	308

EPISODE 5 富士工業、製造部の再起

航海のヒント～

使命感を共有したチームづくりに向かうあなたへ	328
------------------------------	-----

第9章 【熱中の第9週】創発するチームをつくる

- 01 行動変容のステージ
～どうすれば、創発するチームになるのか……………334
- 02 自己成長に向かう場づくり
～内発的動機を高める技術を体得する……………340
- 03 1on1 会議
～経験学習を通じて、学びと成長を実感する……………349
- 04 チーム会議～チームで学び合い、助け合う……………356
- 05 発表会～100日間の成果を実感し、明日につなげる……………358
- 06 創発循環モデル～「普通のチーム」が飛躍するメカニズム……………361

EPISODE 6 富士工業、越境する組織……………364

航海のヒント

- ～やる気に満ちたチームづくりに向かうあなたへ……………380

第10章 アジャイル型の組織変革

- 01 タイニーチームが示す道標
～大きな組織の生き残り戦略……………388
- 02 やる気の連鎖で、組織を進化させる
～アジャイル型組織変革……………392

03 変革の駆動輪	
～アクセラレーターが導く変革の循環	395
04 アジャイル型組織変革の事例	
～損保ジャパン、行列ができる社内研修	402
EPISODE 7 富士工業、越境する組織	407

終章 クラックの先に広がる、 ふたつの未来

参考資料	426
謝辞	430
読者特典	431